

開館時間 (火)～(金) ▶ 9時～17時 ■ 問い合わせ
(土)・(日) ▶ 9時～16時 多久市立図書館 ☎75-2233
休館日 月曜日、図書整理日、祝日、年末年始



世界各国の食を通して
地球の現在を描く

地球のごはん

作・ピーター・メンツェル、
フェイス・ダルージオ
(TOTO出版)

世界各国に暮らす様々な人びとの食事1日分を写真に撮り紹介。そこには、文化や習慣、そして、その国がかかえる事柄さえも垣間見えてきます。今日1日に何を食べましたか? どのように食事をしましたか? いろいろなことを問いかけてくるような1冊です。



武士たちの座右の銘から
みる『恕』の心とは

恕

作・童門 冬二
(里文出版)

孔子の言葉に「其れ恕か。己の欲せざる所、人に施すこと勿れ」とあります。自分がされたくないことは、他人にしてはいけないという意味です。思いやりの「恕」の精神で生きた13人の武士たちが描かれています。佐賀藩主鍋島斉正の記述もあります。



おとぎの国で見つけた
大切なものって何?

ツン子ちゃん、おとぎの国へ行く

文・松本 祐子
絵・佐竹 美穂
(小峰書店)

本当のことをそのまま口に出してしまうツン子ちゃんは、正直者すぎて友だちがいません。ある夜、目が覚めたら不思議な世界に迷い込んでいました。そこで出会ったのは、おとぎ話に出てくる登場人物たちでした。さて、無事に戻ってこられるでしょうか?

「おすすめの新着本」

子育て支援施設 催しのご案内

児童館 ☎75-6621

いずれも対象は幼児から小学生までです。

◆すこやかタイム

毎週土曜日 10時30分～、13時30分～

- 3/1(土) 写真立て作り
- 3/8(土) おりがみあそび
- 3/15(土) メルヘンタイム
- 3/22(土) マスコット作り
- 3/29(土) ロケット作り
- 4/5(土) スライムあそび

◆母と子のサロン

毎週火曜日 10時～12時

内容 おしゃべり会
(第1、3、4火曜日)
ミニ講座、身体測定など
(第2火曜日)

3/11(火) 『成長の記録』

時間: 10時30分～12時

内容: 身体測定(希望者)後に児童厚生員が絵本の読み聞かせや手遊びをします。

講師: 児童厚生員

子育て支援センター

☎75-5780 (杉の子保育園内)

◆子育てクラブ「わくわくランド」

日時 毎週木曜(祝日休み) 10時～12時

場所 多久市児童館

◆園庭開放(杉の子保育園内)

日時 月～土曜日(祝日休み)
9時～14時

◆子育て相談(電話相談可)

日時 月～土曜日(祝日休み)
9時～17時

【3月の休館日】

3日(月)、10日(月)、
17日(月)、
21日(金・祝)、
24日(月)、31日(月)

【みなさんへお願い】

休館日の返却は返却ポストへお願いします。

※図書館カードをお持ちの
人で、登録内容に変更がある
場合はお申し出ください。

児童向き

- ◆あいうえおんせん (高畠 那生)
- ◆ようし、よし! (アイヴァン・ベイツ)
- ◆うまれたよ、ペットントン(服部 千春)
- ◆星空ロック (那須田 淳)
- ◆絶滅動物調査ファイル(里中 遊歩)

一般向き

- ◆わたしの手づくり保存食百科 (リンダ・ブラウン)
- ◆続・風の帰る場所 (宮崎 駿)
- ◆大江戸恐龍伝 (夢枕 獏)
- ◆ぼくは、図書館がすき (漆原 宏)
- ◆ピュリツァー賞受賞写真全記録 (ハル・ピュエル)

「その他おすすめの本」

人権教育 No. 203

とむ生

「差別を 繰り返さないために」

南アフリカで人種間の融和と民主化に努め、アパルトヘイト(人種隔離政策)から、多くの人々を解放した故マンデラ氏のメッセージを紹介します。

「抑圧された側が解放されるのと同じように、抑圧する側も解放されなければならぬ。他人の自由を奪うものは、憎しみにとらわれ、偏見のオリに閉じ込められているのだ。」

この言葉の中には、日本における同和問題の解決につながるヒントがあるのではないだろうか。

人は生まれながらにして他人を憎むように生れつくことはありません。憎しみや差別は教えられることで私たちの心の中に刷り込まれるのです。人の心は良い事よりも悪い事の方に、また否定的な考えの方に支配され

れやすいものです。

「差別はいけない」と分かっている、偏見をもち、差別してしまう理由がここにあるようです。

では、どうすれば私たちの差別する心を変えることができるのでしょうか。

それにはまず、歴史を正しく理解し同和問題について知ることが必要です。

県や各市町では毎年人権に関するセミナーを開催しています。

参加することで多くの講師の意見や考え方を知ることができ、今まで抱いていた心の中の疑問やわからぬにも答えを見いだせるのではないのでしょうか。

同和問題を解決し、人権が尊重される社会を作るには、私たち自身が偏見のオリの中に閉じ込められた心を解放するための行動を起こすことが大切です。

社会教育指導員
釘崎 孝博